

魅力今昔 老舗を訪ねて



Vol.03 赤坂青山地域の大使館を訪ねて
レント王国大使館
Kingdom of Lesotho

第40号から連載で赤坂・青山地域にある大使館を訪ねてその国の歴史、文化、観光などの特色についてインタビューを行っています。第3弾は、レント王国大使館を訪ねました。駐日レント王国大使館は、赤坂7丁目のビル1階にあります。
アフリカ大陸の南に位置するレント王国は、南アフリカ共和国にぐるりと囲まれた場所にあります。標高がとても高いため、空を近く感じられる国です。
インタビューにご協力くださったのはマシングアネグ モントアネームポロ第一書記官です。

赤坂警察署からのお知らせ
特殊詐欺被害超拡大中
次は「あなた」がもしれません

監視庁管内被害状況(10月末現在)
2,770件(約61億円)
昨年同月比+1,214件(+約15億円)

赤坂署管内(10月末現在)
10件(約3,200万円)
昨年同月比±0件(+100万円)

被害に遭わないために...
①知らない番号からの電話に出ない!
②留守録機能を活用し、必要があれば折り返しましょう
③「私は騙されたい」ということはありません
④被害者の9割以上が「自分だけは大丈夫」と考えていました

●問合せ／監視庁赤坂警察署 生活安全課 防犯係
電話：03-3475-0110 (内線 2612)

赤坂消防署からのお知らせ
年末年始に急増! 病気や事故に注意しましょう

一年もあつという間、年末年始のこの時期は、救急車の出動件数が増えるだけでなく、事故の発生も多くなる傾向があります。原因として、インフルエンザといった流行性の病気が急性アルコール中毒、餅をのどに詰まらせるなどによる窒息事故の急増が挙げられます。こうした年末年始に多発する事故を防ぐために、原因の傾向や注意点を知り、事前に対策をたてるのが大切です。

1 風邪やインフルエンザなどの冬季に流行する病気の発生
① 外から帰ったら、丁寧に手洗いと、うがいとしましょう。
② 人ごみを避けましょう。(やむを得ず人ごみに行く時は、マスクをしましょう。)
③ せきやくしゃみをするときは、マスクやティッシュペーパーなどで口と鼻を覆いましょう。

2 忘年会、新年会などにおける急性アルコール中毒
① 短時間のうちに多量の飲酒(一気飲み)は、しないようにしましょう。
② 飲酒の無理強いはしないようにしましょう。
③ 自分の適量を知り、その日の体調にも注意しましょう。

3 餅などを喉につまらせたことによる窒息事故
① 食品を小さく切るなど、食べやすい大きさにしてから食べましょう。
② 急いで飲み込むことなく、ゆっくり噛み、お茶や水を飲んで喉を潤らせるなど、水分と一緒に食べましょう。
③ 食べ物を口に入れたまま、喋ったりしないで食べましょう。

病院へ行く?救急車を呼ぶ?迷ったら
電話でも! ネットでも!

電話で相談 電話#7119
ネットガイド ネット#7119
#7119 電話 #7119 検索

東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局

●問合せ／赤坂消防署予防課 電話：03-3478-0119
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akasaki/>

地域で活躍している方々を紹介!!
赤坂・青山 地域の活動 vol.16

猪瀬 秀幸 さん
青山小学校タグラグビークラブコーチ

主として清掃活動を通して、みなとパルコールの啓発活動を行っています。清掃活動の他にも、放置自転車・バイクへの警告札の貼付、啓発物の配布等を通して、赤坂青山のまちを美しいまちにするために活動しています。

子どもたちにタグラグビーを教え始めたきっかけを教えてください。

今から5年前、昔からの知人に「息子にラグビーを教えよう」と頼まれたことが始まりです。もともと学生時代にラグビーをしていたこともあり、この機会に子どもたちにラグビーの楽しさを伝えたいと思ったことがきっかけです。今でも子どもたちと楽しく活動が続いています。

●具体的などのような活動をしていますか?
参加しているのは小学3年生から6年生です。週に一度青山小学校のグラウンドで、パスなどの基礎練習から実践的なゲームまで練習しています。また、年に3回ある大会にも出場しています。

●どのような時にやりがいを感じますか?
子どもたちがチャレンジして、最初は全然出来なかったことが出来るようになったときにやりがいを感じます。指導を始めてから子供たちに「失敗してもいいけど、諦めることとイヤにするのはダメだ!」ということを伝え続けていて、たとえ失敗したとしても、チャレンジしたことに対して褒めてあげるようにしています。子どもたちには失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを養ってほしいと思いますし、私自身もそのサポートをしていきたいと思っています。

12月は、固定資産税・都市計画税第3期分の納期です(23区内)

12月27日(水)までに、納付書裏面に記載されている金融機関、コンビニエンスストア等で納めください。納税には、安心で便利な口座振替をご利用ください。パソコン・スマートフォン等からクレジットカードでも納付できます。詳細は、HPまたは下記問合せ先へ。

●問合せ
【課税】 港都税事務所 固定資産税 電話：03-5549-3800 (代表)
【納税】 港都税事務所 徴収管理班 電話：03-5549-3800 (代表)
【口座振替】 主税局徴収部納税推進課 電話：03-3252-0955

12月は、オール東京滞納STOP強化月間です

都と市区町村では、安定した税収確保と納税の公平性確保を目指して、毎年12月を「オール東京滞納STOP強化月間」と位置づけ、都と市区町村が連携した広報や催告による納税推進、差押えやタイロッキング、捜索等の滞納処分など、多様な徴収対策に取り組んでいます。詳細は、下記問合せ先へ。

●問合せ
●問合せ／主税局徴収部個人都民税対策課 電話：03-5388-3039

赤坂地区総合支所からのお知らせ
住まいの防犯対策助成事業のご案内

港区では、空き巣等による被害を防ぐための防犯対策に要した費用の一部を助成する「住まいの防犯対策助成事業」を行っています。

●対象者 申請日現在区内に居住し住民登録をしている世帯
※管理者、管理組合、賃貸住宅所有者等単位では申請できません。

●助成金額 対象防犯対策に要した費用の1/2 (100円未満切捨て、上限10,000円)

●対象防犯対策 現に居住する住宅に行った下記の防犯対策

場 所	品 目
玄関	1.防犯性能の高い錠の取付け又は交換
	2.補助錠の取付け又は交換
	3.サムターンカバーの取付け又は交換
	4.カム送り防止具の取付け又は交換
窓	5.ガードプレートの取付け又は交換
	1.防犯フィルムの貼付
	2.防犯ガラスへの交換
	3.補助錠の取付け又は交換
	4.面格子の取付け又は交換
その他	5.ガラス破壊センサーの取付け又は交換
	1.センサー付ライトの取付け又は交換
2.センサー付アラームの取付け又は交換	

●申請方法 防犯対策に要した費用を支払った日から90日以内に、申請書及び領収書原本をお近くの総合支所協働推進課協働推進係へご提出ください。
※申請書は総合支所協働推進課協働推進係窓口にて配布しています。

●問合せ／協働推進課 協働推進係 電話：03-5413-7272

実施日	時間帯	活動場所	集合場所
1月25日(木)	(受付9:10～) 9:30～10:30	赤坂見附駅周辺	赤坂見附駅交番前
1月26日(金)	(受付8:40～) 9:00～10:00	外苑前駅周辺	外苑前歩道北 北青山吉川ビル前
2月22日(木)	(受付9:10～) 9:30～10:30	赤坂駅周辺	赤坂B1タワーアクセス1 赤坂通り側
2月23日(金)	(受付8:40～) 9:00～10:00	表参道駅周辺	秋葉神社前
3月15日(木)	(受付9:10～) 9:30～10:30	瀬田山王駅周辺	赤坂スターゲート プラザ前
3月16日(金)	(受付9:10～) 9:30～10:30	青山一丁目駅周辺	ホンダビル前

※スケジュールは変更になる可能性があります。
注1) キャンペーン実施日については変更する可能性があります。
注2) 雨天の場合は中止します。当日の雨中止決定は、関係先へ連絡します。
注3) キャンペーンのお知らせは、月報に発送している「町会・自治会等への定期便」に同封いたします。商店街・企業等はメールもしくはFAXで送付します。

都税事務所からのお知らせ
年末年始における窓口業務のご案内

都税事務所・都税支所・支庁、都税総合事務所・自動車税事務所での税の申告・納税・証明等の事務の取扱いは、年末は12月28日(木)まで、年始は1月4日(木)からとなります。
12月29日(金)か1月3日(水)までの間に申告書・申請書を提出する場合は、都税事務所・都税支所などに設置している「申告書受箱」をご利用ください。

●問合せ／港都税事務所 電話：03-5549-3800 (代表)

赤坂・青山子ども中高生 共育事業

冬の共育講座をご案内します!
今回は下記の講座を実施します。詳細は「共育情報局」に順次アップしていきます。*各種講座は赤坂地区に在住・在学の子どもの対象となります。

●文化系講座
「課題発見!発明品で解決しよう。TEPIA発明講座」
普段の生活の中で、困っていることはありませんか? 解決方法を考え、設計図を描いて、オリジナルの発明品を作ってみましょう。
TEPIA講師が皆さんの発明をサポートします!

●完成した発明品を発表!
日時 平成30年2月17日(土) 14:00～16:00
会場 青山小学校

課題発見!身の回りの物を使った発明を企画!
日時 平成30年1月20日(土) 14:00～16:00 会場 青山小学校

描いた設計図を元に実際に作ってみよう!(いずれか1日に参加)
日時 平成30年1月27日(土) 14:00～16:00、平成30年2月3日(土)、11日(日) 10:00～17:00
会場 TEPIA先端技術館

完成した発明品を発表!
日時 平成30年2月17日(土) 14:00～16:00
会場 青山小学校

スポーツ系講座
「楽しくレスリング体験!(仮称)」
楽しくレスリングを学び、つかむ力を鍛えよう!
講師にはオリンピックメダリストまたはコーチをお招きする予定です!

日時 平成30年1月27日(土)
会場 青山中学校

「楽しく英語でラグビー体験!(仮称)」
ラグビーワールドカップ2019日本大会まであと1年!
英語を交えながらラグビーを体験し、チームワーク、リーダーシップを学ぼう!

日時 平成30年2月実施予定

【赤坂・青山共育情報局】
ホームページ <http://www.akasaka-aoyama-tomoiku.net>
Facebook <https://www.facebook.com/akasaka.aoyama.tomoiku/>

【共育情報局】で検索!
●問合せ／協働推進課 地区政策担当 電話：03-5413-7013

港区政70周年記念事業 赤坂青山イメージソング
『MY HOME TOWN』
作曲・作曲 吉田山田
プロモーションビデオは、赤坂・青山地域の魅力をより多くの人に伝えるため、イメージソングを制作しました!プロモーションビデオは、赤坂・青山地域の各所で撮影を行い、地域の魅力を凝縮しました!

プロモーションビデオは、右のQRコードまたは下記のURLからご覧いただけます。
赤坂青山イメージソング 検索
[URL] <https://www.city.minato.tokyo.jp/kouhou/movie/1704-akasaki.html>

地域デビューの集いを平成30年3月4日(日)に開催します。

これまで地域活動に参加できていなかった方々に地域に関心を持ってもらい、活動に参加するきっかけづくりを目的としたイベント、「地域デビューの集い」を開催します。町会・自治会の活動紹介や、地域活動を行っている方々による「パネルディスカッション」を通じて、地域活動の魅力をお届けします。子どもから大人まで楽しめるイベントも予定しておりますので、ぜひご参加ください。
*一般的な定年退職年齢(64歳から67歳)を迎えた赤坂・青山地域在住の皆様には、事前にご案内状をお送りします。

●日時：平成30年3月4日(日) 14:00～16:30(予定)
●会場：赤坂区民センター 区民ホール(3階)
●対象：どなたでも ●費用：無料

※時間・内容は予定です。詳細は決まり次第、区設掲示板やHP等でお知らせします
●問合せ／協働推進課 協働推進係 電話：03-5413-7272

この情報誌は赤坂青山地域に在住が在学者または赤坂青山地域のために活動したいという編集委員の方々と作成しています。ご興味のある方はぜひお問い合わせ下さい。

赤坂青山地域情報誌 第42号
平成29年(2017)12月発行
編集：港区赤坂・青山地区タウンミーティング 地域情報の発信・交流分科会
発行：港区赤坂地区総合支所協働推進課 〒107-8516 港区赤坂4-18-13 電話：03-5413-7013 FAX：03-5413-2019 (発行部数 24,500部)

赤坂・青山 魅力今昔 老舗を訪ねて

実は赤坂青山には創業100年を超える会社やお店がたくさんあります。今回はそのような老舗の方にお話を伺い、赤坂青山の今と昔を、写真を見比べることで、地域の魅力を再発見！今まで気が付かなかった、知らなかった様々な情景を、みなさんと一緒に楽しんでください！！

青山の今昔を伝える老舗銭湯

表

参道の交差点に程近い、青山通りの路地に入ったところ、ご主人の大倉さんの言葉をお借りすると「洗練されたのんびり感」がありながら、ファッションや情報の最先端に行くこの街に「南青山 清水湯」があります。その存在に意外と思う方や、すでにご存じの方など様々ではないでしょうか。「清水湯」は、もともと外苑西通り、現在のワタリウム美術館辺りにあったのですが、昭和39（1964）年の東京オリンピックの頃、道路の拡張計画などに伴い現在の場所へ移転されたそうです。現在は4代目ご主人（大倉正敏氏）の曾祖父が創められ、100年以上続く老舗の「銭湯」です。

都内のみならず、全国レベルで銭湯は現在、週に1軒ペースで廃業しているそうです。利用客の減少、後継者不足等、廃業理由は様々。そのような中で、「南青山 清水湯」は「入浴のための銭湯」から「楽しむための銭湯」を目指し日々、運営をされているそうです。立地上、お客様は男女半々だそうで、会社帰りのビジネスマンやファミリー、地元の高齢者の方々、外国人観光客、中には地方からわざわざ来られる方もいらっしゃるかと。平成21（2009）年に現在のようなマンションと一体となった店舗へリニューアルされ、当時も相当なご苦労があったと言います。しかしながら、経営を続けようとした理由を大倉さんは「使命感のようなもの」と仰っていました。また、「家族の支えがあったからこそ現在の現在」とも。お話を伺って、銭湯の経営は毎日の清掃や不規則な生活時間等、大変なことがたくさんあることが分かりました。と同時に、生まれも育ちも青山である大倉さんの「新しいことをどんどん取り入れ、銭湯のあり方をこれからも追求し、経営していきたい。」という言葉にファッションや情報の最先端であるこの「青山」だからこその強い気持ちは感じました。街の今昔を意識しながら赤坂・青山地域を散策してみるのもオススメです。



昭和25（1950）年、「渋谷区原宿1丁目159」（現在の神宮前4丁目）にあった頃の写真。今では珍しい「破風造り」の銭湯でした



平成19（2007）年 今は懐かしい、リニューアル前の外観写真。看板が印象的でした



平成19（2007）年 趣のある、味わい深いリニューアル前の館内写真



(左)現在の館内 (右)現在の外観

創業 明治後期
南青山 清水湯
所在地 / 南青山3丁目12番3号



花を積んだ箱車と在りし日の創業者・北野茂吉 大正元（1912）年頃

美しく、華やかな花も 原点は供花！

山通り（国道246号線）南青山5丁目の交差点に立ってみると、ひときわ目立つ茶色の「ノッポビル」が目飛び込んできます。外装は美しい（茶色の）インド砂岩で覆われ、正面は鮮やかなグリーンの花のリースがアクセントになっています。これが現在の株式会社花茂本店です。創業当時の明治37（1904）年ごろ、青山はまだ電車で走っていない郊外でした。創業者の北野茂吉が仏前の供花を扱う、ささやかな生花店を青山善光寺前に開き「花茂」と名付けました。花を積んだ箱車を引ながら、青山一帯から麻布霞町、弁町、高樹町、原宿と少しずつお得意様を増やしていききました。大正元（1912）年ごろ、現在の表参道交差点付近に新しく店舗を構えました。当時、1日の売り上げが1円のところ、設置料が300円、年間使用料40円の超高級品だった「電話」を家族の反対を押し切って引いたそうですが、これが功を奏して、販路拡大に繋がったのでした。

昭和19（1944）年の太平洋戦争（第2次世界大戦）中、空襲で店舗が全焼。昭和22（1947）年、終戦から2年経ち、バラック同然の店ながら現在の場所で事業を再開しました。その後、時を経て、昭和50（1975）年、同地に花の館・青山花茂ビルが竣工。創業100年を超えて今なおお繁盛されていらっしゃるのには、お客様と花の品質を何よりも大切にしてくださったから、と感じ入りました。



終戦後の店舗、右手前の高見台は「信号塔」です。都電の職員である信号担当者がここから換車をしていた



大正時代、横書き文字は右から読んで！



創業 1904年
青山花茂本店
所在地 / 北青山3丁目12番9号

赤坂とともに約140年 和菓子・虎屋の500年の歴史

室 町時代後期の京都で創業して以来、5世紀にわたり和菓子屋を営んできた「虎屋」。後陽成天皇ご在位中（1586年～1611年）より御所の菓子御用を勤め、今に至る老舗中の老舗店です。東京での営業は明治2（1869）年、東京遷都の際に明治天皇にお供して、京都店はそのままだに東京へと進出したところから始まります。最初に神田で出張所を開設し、丸の内ほか数度の移転を経て、明治12（1879）年、現在の元赤坂1丁目付近にあたる赤坂表（現在の青山通り沿い）へ。その後、明治28（1895）年から現在の東京工場がある赤坂裏へと移転しました。町名こそ明治44（1911）年に赤坂裏から伝馬町に変わりましたが、ずっと同じ場所で営業を続けていたそうです。大正12（1923）年の関東大震災発生をきっかけに、注文販売だけでなく、店頭販売をスタート。もっと広く多くの人に

お菓子を食べてもらいたいという想いから、ロングセラーとなっている商品も生まれました。昭和7（1932）年、表町へ移転。工場を併せ持つ新しい店舗として、豊川稲荷東京別院の脇に移転。昭和11（1936）年、虎屋に初めて女子店員が入ってきたのもこの頃でした。最初は人数も少なく事務や包装などが中心でしたが、戦争で男子店員が召集されてしまったため、女子店員を増やして製造にも携わってもらうようになりました。当時は、陸海軍からの菓子の注文があったものの、統制経済のなか原材料の使用制限などで経営にも苦心した時代でした。戦後も砂糖や小豆が手に入らないこともあって、一時的にパンなどを作って配給所に卸したり、苦肉の策で喫茶店などをしながら、戦後の混乱期を凌ぎ、当時の従業員を守ったそうです。そのような戦後を乗り切り、昭和38（1963）年、翌年のオリンピック開催に伴う

青山通り拡張のため、虎屋もその区域にかかっていたことから移転。昭和39（1964）年に店舗と喫茶、本社機能を合わせた虎屋ビルを建設、約10年後に新館が竣工、あの「赤坂・虎屋」が誕生しました。来年秋、やっと新赤坂店がオープンしますが、虎屋の挑戦はまだ続きます。未来に向けて小さなお子さんから高齢の方、海外の方にも喜んでいただけるような取り組みが始まっています。戦前から戦後そして今、これからの未来…どんな時代が変わっても、常にお客さまに「どうしたら喜んでいただけるのか」を考え、菓子の原材料、製造工程にも手を抜かない——あの室町後期の創業からそれだけは変えずに、約500年にわたって受け継がれている「大切な心」。これからの虎屋のヒントがたくさん詰まった新赤坂店のオープンがとっても楽しみです！



大正14（1925）年に撮影。「とらや」の暖簾が残る一番古い貴重な写真



表町店。設計は旧歌舞伎座の設計で有名な岡田信一郎氏によるもの。当時は「お城の建物」と呼ばれていました



戦時中に入店した女子店員たち

創業 室町時代後期
株式会社 虎屋
所在地 / 赤坂4丁目9番22号
※ビルの建て替えに伴い、事務所を仮移転しております
画像提供：虎屋文庫

(左)上の写真の場所には、現在は東京工場があります (右)旧本社ビル。新赤坂店にも乞うご期待！



昭和20年代後半の金井金物店。日枝社社に向かつて長く吹き抜けた道路は、今よりも広々。奥には、国会議事堂の屋根が見えます

町づくりのお店から、町の治安を守るお店へ

明治24（1891）年から創業の歴史を持つ「金井金物店」は、赤坂の歴史と共に一世紀以上にわたり歩んできた、由緒ある金物屋さんです。開店当初は、やかんや鍋などの、一般的に認識されるいわゆる「金物」も並べていましたが、基本は工具やネジ、クギなどの「建築金物」を扱うお店だったそうです。山王下や赤坂見附界隈にまだ都電が走っていた頃、建築現場のスタートは早く、朝6時頃から店頭に来るとび職人さんたちを迎えては、樽に入ったクギを量り売りしていました。夜の9時には次の日の建築金物を入手しに来店する職人さんに鉄筋やブリキ板を売り、日常生活と共にある金物屋さんの生業を、古くから営んできました。「日本の政治は夜の赤坂の街でつくられる」と言われた通り、多くの芸者さんのお座敷や料亭が数寄屋造で軒を連ねる赤坂で、その建築の素材となる建材の販売を支えてきた金井金物店は、赤坂の街の礎を築いてきたといっても過言ではないかも知れません。数寄屋造の木造建築がどんどん鉄筋ビルに変わっていく赤坂で、今は建築金物販売

だけではなく鍵や防犯工事に力を入れる業態に変わってきました。これからも人との繋がりや薄れていく現代の中で、安心して赤坂の街の安全の一端をお任せできるような時代に合ったスタイルで私たちを支えてくれるお店です。是非その歴史の今昔を紐解きに立ち寄りたててみてはいかがでしょうか。



赤坂に大雪が降った日の風景。来店客を思いやる姿は、今も昔も変わらず



昭和52（1977）年 店頭で撮影された、3代目夫妻の写真。お店の奥には、赤坂の町を作った建材が並びます



昭和52（1977）年 お正月の嵐揚げ。右手に見えるのは東京タワーでなく、今はなきNHK東京総合テレビジョンの電波塔

創業 1891年
株式会社 カナイ（ファインセキュア）
カナイ金物
所在地 / 赤坂3丁目14番11号

赤坂青山には「創業100年以上の老舗」がたくさんあります！ 今後も赤坂青山の魅力を探していきます。